

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
488	御所桜堀川夜討	語釈 評論	穂積以貫＝撰		浄瑠璃/文句評註難波土産	卷之一	①元文3年1月 ③本文の語釈、作品の批評
					新群書類従	第六 歌曲	①明治40年8月 ④国書刊行会 ③『浄瑠璃/文句評註難波土産』所収
					浄瑠璃/文句評註なにはみやげ		①天正15年8月 ④文憲堂書店 ③上田萬年＝編・校訂
					浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第312号	①昭和7年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
					浄瑠璃研究文献集成		①昭和19年7月 ④北光書房 ③日本演劇文献集成第2。早稲田大学演劇博物館日本演劇文献研究会＝編纂、『浄瑠璃/文句評註難波土産』所収
	竹本七太夫	短評	膚暖堂蠶梁		音曲猿口轡		①延享3年3月 ③『日本庶民文化史料集成』第7巻人形浄瑠璃（昭和50年10月・三一書房）他に所収
	御所桜堀川夜討	短評	歎操山人		竹本不断桜		①宝暦9年中秋カ ③『日本庶民文化史料集成』第7巻人形浄瑠璃（昭和50年10月・三一書房）他に所収
	音曲口伝 * 御所桜	芸談	順四軒	竹本播磨少掾	音曲口伝書 音曲叢書	第1編	①安永2年9月 ①大正4年3月 ④巖南堂書店 ③演芸珍書刊行会＝編。昭和48年4月復刻版。『音曲口伝書』所収
					浄瑠璃研究文献集成		①昭和19年7月 ④北光書房 ③日本演劇文献集成第2。早稲田大学演劇博物館日本演劇文献研究会＝編纂、『音曲口伝書』所収
					日本思想大系	61近世芸道論	①昭和47年1月 ④岩波書店 ③郡司正勝＝校注、『音曲口伝書』所収
					芸の思想・道の思想	6近世芸道論	①平成8年2月 ④岩波書店 ③日本思想大系新装版、『音曲口伝書』所収
	附録 語方の実例 御所桜堀川夜討 弁慶上使の段	演出	岡鬼太郎		義太夫秘訣		①明治36年3月 ④服部書店 ③明治39年6月富田文陽堂より第2版、大正10年9月野村青雲堂より第4版発行

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					岡鬼太郎花柳文芸名作選	9義太夫秘訣	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③明治36年3月服部書店版の復刻
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人 講釈』を収録
	御所桜 三段目 弁慶上使の 段	注釈	蓼沼祐太郎・山 沢簡＝編		義太夫難句詳解	前編	①明治37年2月 ④田沼書店
	御所桜堀川夜討 弁慶上使の段に就いて	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲/百段語り物の訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
	堀江座に於ける人形浄瑠璃素 人評	劇評	中村商海子・中 村柳雨子		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第71号	①明治41年12月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治41年11月堀江座所演
	文楽座十一月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第81号	①明治42年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治42年11月御霊文楽座所演（短評）
	御所桜堀川夜討	実説	三田村鳶魚		日本及日本人	明治43年5月15 日号	①明治43年5月 ④政教社
	弁慶上使				芝居と史実		①明治44年1月 ④政教社
	御所桜堀川夜討				芝居ばなし	第1編	①大正15年11月 ④宝文館 ③「御所桜堀川夜討」改題
			三田村鳶魚全集			第18巻	①昭和51年5月 ④中央公論社 ③『芝居と史実』『芝居の裏おもて』を収録
	御所桜堀川夜討（藤弥太物語 の場）	解説 梗概	劇道研究会＝編		古/今名劇二百種	第1集	①明治44年6月 ④金港堂書籍
	演劇八面観 * 二つの首級 『弁慶上使』 の人々の性格	随想	寺田波二		演芸画報	第6年 第8号	①明治45年8月 ④演芸画報社
	御所桜堀川夜討弁慶上使	評論	八面瑠		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第112～115号	①大正1年12月～2年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	第三種 御所桜堀川夜討 * 弁慶上使の段 * 片身片袖の段	梗概 批評	徳島県教育会		義太夫調査書		①大正2年4月 ④徳島県教育会 ③大正2年7月増補訂正再版
	近松座（大正2年5月10日）	劇評	東口庵		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正2年5月近松座所演（一言）。「朝日新聞」より 転載

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松座の乃木劇	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第118号	①大正2年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正2年5月近松座所演
	御霊文楽座（大正2年10月26日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正2年10月御霊文楽座所演（一言）。「毎日新聞」より転載
	御所桜堀川夜討 弁慶上使の段	研究	月廼舎掬水		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第156～159号	①大正5年6～9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③原作と床本との相違点や解説について
	御所桜に就いて	解説 梗概 梗概	松田竹の島人		演芸画報	第5年 第1号	①大正7年1月 ④演芸倶楽部
	----- 棧敷より書齋へ 一八百蔵の弁慶上使一 ----- 一弁慶上使一		伊原青々園		----- 棧敷から書齋へ -----		①大正13年7月 ④玄文社
	芝居に現はれたる女 * 弁慶上使のおわさ	随想	伊東英子		演芸画報	第7年 第3号	①大正9年3月 ④演芸倶楽部
	御霊文楽座（大正12年5月1日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正12年5月御霊文楽座所演（短評）。「毎日新聞」より転載
	文楽の一月興行所感	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第238号	①大正14年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正14年1月御霊文楽座所演
27、ブ8、 274	御所桜堀川夜討 三段目切 弁慶上使の段	演出	杉山其日庵（茂丸）		浄瑠璃素人講釈		①大正15年11月 ④黒白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻版
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講釈』を収録
579			杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・ 桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	（上）	①平成16年10月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈付載
488	義太夫虎之巻 御所桜堀川夜討三段目切弁慶上使の段	演出	胴摺帽人（杉山茂丸）		黒白	126号	①昭和3年4月 ④黒白発行所 ③『浄瑠璃素人講釈』の増補
579	御所桜堀川夜討 三段目切 弁慶上使の段		杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・ 桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	（下）	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・人名索引付載

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽の人々	劇評	岡鬼太郎		歌舞伎と文楽		①昭和18年5月 ④三田文学出版部 ③昭和3年7月東京新橋演舞場所演。「東京朝日新聞」より転載
					岡鬼太郎花柳文芸名作選	12歌舞伎と文楽	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③三田文学出版部版の復刻
	文楽新聞評抜粋 二、昭和三年十二月 * その第二回	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和3年12月東京新橋演舞場所演
	文楽座評判記 * 文楽雑感	劇評	鬼太郎		演芸画報	第23年 第8号	①昭和4年8月 ④演芸画報社 ③昭和4年7月東京新橋演舞場所演（短評）
	文楽物語及び文楽人形物語 文楽物語 近事篇（その二） 初代豊竹古靱太夫斬殺事その他 * 初代、二代目（当代）古靱太夫及び故清六の話	芸話	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③（5）豊沢広助と（2）豊沢団平の弾き方の違い
					改修文楽の研究		①昭和15年3月 ④創元社 ③創元選書40
					新編文楽の研究		①昭和22年11月改訂初版 ④創元社 ③創元選書40
					定本文楽の研究		①昭和27年5月 ④創元社 ③創元文庫
					文楽の研究		①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫
							①平成17年8月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説（今尾哲也）付載
	六月の文楽座	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第304号	①昭和6年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年6月四ツ橋文楽座所演
	東上の人形一座	劇評	岡鬼太郎		歌舞伎と文楽		①昭和18年5月 ④三田文学出版部 ③昭和6年7月東京明治座所演（短評）。「東京朝日新聞」より転載

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					岡鬼太郎花柳文芸名作選	12歌舞伎と文 楽	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③三田文学出版部版の復刻
	文楽人 形/浄瑠璃合評 * 鏝の弁慶上使	劇評	美濃部達吉		演芸画報	第27年 第8号	①昭和8年8月 ④演芸画報社 ③昭和8年7月東京東京劇場所演
	文楽見たまゝ聞いたまゝの記	劇評	金光明川		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第329号	①昭和9年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和8年12月東京歌舞伎座所演
	文楽座の人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第31年 第7号	①昭和12年7月 ④演芸画報社 ③昭和12年6月東京明治座所演
	新橋演/舞場の文楽人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第32年 第8号	①昭和13年8月 ④演芸画報社 ③昭和13年7月東京新橋演舞場所演
27	十二、四ツ橋の文楽座になっ てから * 弁慶の解釈	芸談	鴻池幸武＝編	(1) 吉田栄三	吉田栄三自伝		①昭和13年11月 ④相模書房 ③昭和23年5月武智鐵二の序等を加え和敬書店より再 版。昭和6年6月四ツ橋文楽座所演のこと
	源大夫の『弁慶上使』	批評	鴻池幸武		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第386号	①昭和15年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和15年1月ラジオ放送評
					鴻池幸武文楽批評集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	薄利多売の文楽	劇評	山口廣一		劇評・随想 大阪の芝居		①昭和17年12月 ④輝文館 ③昭和16年1月四ツ橋文楽座所演（短評）。「大阪毎日 新聞」（昭和16年1月17日）より転載
	正月の文楽座	劇評	樋口吾笑		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第397号	①昭和16年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和16年1月四ツ橋文楽座所演（短評）
	鶴沢叶・聞書 * 浄曲極意	芸談	茶谷半次郎	(4) 鶴沢叶 (2) 鶴沢清 八)	聞書 芸と文学		①昭和17年6月 ④全国書房 ③『文芸春秋』昭和7～8年及び『週刊朝日』昭和9年掲 載分をまとめたもの。「御所桜」のマクラ
					文楽聞書		①昭和21年5月 ④全国書房

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第五章 劇的性格論 二 時代物系の劇的性格 (一) 操浄瑠璃系時代物の劇的性格 20 「御所桜堀川夜討」の劇的性格	研究	中村吉蔵		日本戯曲技巧論		①昭和17年7月 ④中央公論社
	六月の文楽座 評判記	劇評	升屋治三郎		幕間	第2巻 第7号	①昭和22年7月 ④和敬書店 ③昭和22年6月四ツ橋文楽座所演
	文耕堂の合作浄瑠璃	研究	横山正		九大國文學會誌	復刊号	①昭和23年5月 ④九州帝國大學國文學研究室
	歌舞伎百趣 42 御所桜堀川夜討	解説	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店
	文楽てんやわんや評	劇評	渡邊義三郎		幕間	第5巻 第4号	①昭和25年4月 ④和敬書店 ③昭和25年3月東京新橋演舞場所演 (短評)
274	御所桜堀川夜討	解説 梗概	近藤忠義		増補/改訂日本文学大辞典	第3巻	①昭和25年8月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
	三月・四月名古屋御園座 武智歌舞伎と山城浄瑠璃	劇評	木村菊太郎		幕間	第6巻 第5号	①昭和26年5月 ④幕間和敬書店 ③昭和26年4月名古屋御園座所演 (一言)
	文楽の恋八卦	劇評	三室騰		舞台展望	第5号	①昭和26年11月 ④舞台すがた社 ③昭和26年10月四ツ橋文楽座所演 (短評)
	十月の文楽座	劇評	吉永孝雄		幕間	第6巻 第11号	①昭和26年11月 ④幕間和敬書店 ③昭和26年10月四ツ橋文楽座所演 (短評)
	文楽芸術の宣伝	劇評	鷺谷禰風		舞台展望	第2巻 第9号	①昭和27年9月 (10月号) ④舞台すがた社 ③昭和27年9月中座所演
	幸運の三人	劇評	沼艸雨		幕間	第7巻 第10号	①昭和27年10月 ④幕間和敬書店 ③昭和27年9月中座所演 (短評)
	文耕堂浄瑠璃の構成	研究	横山正		語文	第8輯	①昭和28年3月 ④大阪大学国文学研究室
	四段目の趣向とその作者一文 耕堂関係の合作浄瑠璃一	研究	横山正		大阪学芸大学紀要 A人文科学	第1号	①昭和28年3月 ④大阪学芸大学
	文楽の伊賀越	劇評	吉永孝雄		舞台展望	第3巻 第6号	①昭和28年6月 ④舞台展望社 ③昭和28年5月四ツ橋文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	七十七年ぶりの「伊賀越」	劇評	大鋸時生		幕間	第8巻 第6号	①昭和28年6月 ④幕間和敬書店 ③昭和28年5月四ツ橋文楽座所演（短評）
	文耕堂浄瑠璃の趣向—その二段目切について—	研究	横山正		大阪学芸大学紀要 A人文科学	第3号	①昭和30年3月 ④大阪学芸大学
	一分のスキもない50分間	劇評	安藤鶴夫		安藤鶴夫作品集	Ⅲ芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③昭和30年12月東京三越劇場所演。初出＝「読売新聞」（昭和30年12月12日）。平成9年3月復刻版。『文楽 日本の伝統』『古鞠芸談』『桐竹紋十郎』『芸と人』『芸について』他を収録
	瓜子姫とあまんじゃく	劇評	塩野谷恵彦		間	第5号	①昭和31年8月 ④名古屋歌舞伎研究会 ③昭和31年4月毎日ホール所演（短評）
	2 名作の舞台 * 御所桜堀川夜討	解説 写真	大西重孝・吉永 孝雄＝著／三村 幸一＝写真		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編
	3 人形の基本的な型 * 打込み	解説	大西重孝				③弁慶
	豊竹山城少掾 14	芸談	豊竹山城少掾		私の履歴書	第9集	①昭和34年10月 ④日本経済新聞社 ③初出＝「日本経済新聞」昭和34年2月連載。「弁慶上使」における（3）鶴沢清六の三味線について
	山城少掾自伝 古鞠太夫を襲名				日本の芸談	第3巻 能 狂言 文楽	①昭和53年12月 ④九藝出版
	豊竹山城少掾 14 古鞠太夫を襲名				私の履歴書	文化人10	①昭和59年2月 ④日本経済新聞社
カ178、ブ 8、579	御所桜堀川夜討	解説 梗概	林京平		演劇百科大事典	第2巻	①昭和35年6月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
	第一篇 段の研究 第一部 時代物 第四章 二段目	研究	近石泰秋		操浄瑠璃の研究		①昭和36年3月 ④風間書房 ③二段目の意義について例証
	関西の焦点 文楽の端境	劇評	北岸佑吉		演劇界	第21巻 第2号	①昭和38年2月 ④演劇出版社 ③昭和38年1月道頓堀文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第四章 浄瑠璃に於ける趣向 と描写の問題 第四節 近松歿後の浄瑠璃の 変遷 I 享保・元文・寛保期の浄 瑠璃 (2) 文耕堂浄瑠璃の構成	研究	横山正		浄瑠璃操芝居の研究		①昭和38年12月 ④風間書房
	でんでん虫夜話 * 八百八狸これを守護す	芸談	(8) 竹本綱大 夫		でんでん虫		①昭和39年6月 ④布井書房 ③大正12年4月御霊文楽座所演の思い出
	「判官物」管見—第5回「弁慶 上使」について—	研究	牧野信之助		電気通信大学学報 人文社 会編	第20号	①昭和41年8月 ④電気通信大学
	文楽の追憶	随想	長谷川幸延		国立劇場文楽公演解説書	第8回	①昭和43年10月 ④国立劇場事業部 ③昭和2年3月弁天座所演の思い出
	春子の「又助住家」を推す	劇評	山口廣一		演劇界	第26巻 第13号	①昭和43年12月 ④演劇出版社 ③昭和43年11月東京国立劇場小劇場所演
	演目解説 御所桜堀川夜討 弁慶上使の 段	解説	武智鐵二		土門拳 文楽		①昭和47年12月 ④駸々堂出版 ③別冊『土門拳文楽 その背景』に収録
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	関西劇信 文楽の近松物など	劇評	北岸佑吉		演劇界	第31巻 第6号	①昭和48年6月 ④演劇出版社 ③昭和48年4~5月朝日座所演 (一言)
	弁慶 文耕堂・三好松洛「御所桜堀 川夜討」	解説	久保田淳		國文學 解釈と教材の研究	第19巻 第4号	①昭和49年3月 ④學燈社 ③3月臨時増刊号。特集〈作品に見る日本歴史の101人〉
	手摺 四 時代物=名場面 御所桜堀川夜討	解説	山田庄一		文楽 人形の美学		①昭和49年10月 ④毎日新聞社 ③森晋六・榎本由喜雄・山田庄一・佐藤鉄彌=編集/ 林嘉吉=写真
488	弁慶上使の段	鑑賞	山口廣一		文楽三味線 鶴沢寛治の芸		①昭和49年 (レコード発売) ④CBSソニー ③レコード解説書
	文楽名作鑑賞 御所桜堀川夜討	解説 梗概	h		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					文楽		①平成2年1月 ④ぎょうせい ③伝統芸能シリーズ3。『文楽入門』の改訂版
	ご鑑賞の手びき 疑問に包まれた三好松洛	参考	横山正		朝日座文楽公演プログラム		①昭和55年4月 ④文楽協会
	ご鑑賞の手びき この公演に登場する人物の紹介	解説	吉永孝雄				
	八〇年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八一年版	①昭和56年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和55年4月朝日座所演（一言）
	一九八〇年の文楽			文楽 二十世紀後期の輝 き一劇評と文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部	
	原作をかえる歌舞伎の演出	鑑賞	大鋸時生		国立劇場歌舞伎公演解説書	第105回	①昭和55年6月 ④国立劇場事業部 ③歌舞伎との比較における文楽の場合の説明
	史蹟を往く * 武蔵坊弁慶	史跡	(丁)				
	素浄瑠璃の会	劇評	平野英俊		邦楽と舞踊	第33巻 第5号	①昭和57年5月 ④邦楽と舞踊出版社 ③昭和57年3月2日「田螺の会」（短評）
	文楽 若手勉強の場	劇評	松永吉史		邦楽と舞踊	第34巻 第5号	①昭和58年5月 ④邦楽と舞踊出版社 ③昭和58年3月26～27日「横浜文楽」（短評）
	ご鑑賞のてびき 初めて文楽を楽しむ人にも分 りやすい 時代物の大曲・世 話物の名作ぞろい	鑑賞	田結莊哲治		文楽地方公演プログラム		①昭和58年11月 ④文楽協会
	御所桜堀川夜討	解説 梗概	菊池明		日本古典文学大辞典	第2巻	①昭和59年1月 ④岩波書店
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結莊哲治		国立文楽劇場文楽公演解説 書	第7回	①昭和60年4月 ④国立劇場
	文楽の劇評 七世竹本住大夫誕生	劇評	富岡泰		演劇界	第43巻 第6号	①昭和60年5月 ④演劇出版社 ③昭和60年4月国立文楽劇場所演
	国立劇場の企画の貧困 '85文楽の一年	劇評	内山美樹子		演劇界	第43巻 第13号	①昭和60年12月 ④演劇出版社 ③昭和60年4月国立文楽劇場所演（短評）
				文楽 二十世紀後期の輝 き一劇評と文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部	

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第一章 『一谷★【女+東+十 欠】軍記』三の切・熊谷陣屋 の段 一「奥へ連れて行（三の1）～待 間程なく（三の4）」 ----- 二「熊谷ノ次郎直実（三の5） ～座に直れば（三の12）」	芸談	(4) 竹本津大 夫・津大夫を囲 む研究会	(4) 竹本津大 夫・竹沢団七	四世竹本津大夫芸話		①昭和61年7月 ④白水社 ③日本芸能セミナー文楽の音楽（第一部）。『季刊邦 楽』第23～45号（昭和55年6月～昭和60年12月・邦楽 社）掲載分を改稿。「弁慶上使」の風及び語り方につ いて
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結莊哲治		国立文楽劇場文楽公演解説 書	第23回	①昭和63年3月 ④国立劇場
	若手、爽やかに熱演	劇評	田結莊哲治		演劇界	第46巻 第4号	①昭和63年4月 ④演劇出版社 ③昭和63年3月国立文楽劇場所演
	弁慶説話について	研究	上横手雅敬		国立劇場文楽公演解説書	第84回	①昭和63年5月 ④国立劇場
	伊達大夫襲名と『廿四孝』の 通し	劇評	富岡泰		演劇界	第46巻 第6号	①昭和63年6月 ④演劇出版社 ③昭和63年5月東京国立劇場小劇場所演
	第二話 入門まで *源大夫は名人やけど		(5) 竹本織大 夫 (9) 竹本 源太夫)・高木 浩志		織大夫夜話 文楽へのいざ ない		①昭和63年7月 ④東方出版 ③(7) 竹本源太夫の息の長さ
	「御所桜堀川夜討」弁慶上使 の段	芸談	富岡泰＝聞き手	(4) 野沢錦糸	文楽	第7号	①平成1年2月 ④「文楽」編集部
	演目の選定で台本の検討が必要	劇評	権藤芳一		演劇界	第50巻 第2号	①平成4年2月 ④演劇出版社 ③平成4年1月国立文楽劇場所演
	『染模様妹背門松』の改悪物	劇評	安土政夫		上方芸能	111号	①平成4年5月 ④『上方芸能』編集部 ③平成4年1月国立文楽劇場所演
	文楽名作案内 御所桜堀川夜討	解説	安田絹枝		別冊太陽 日本のこころ	No.80 文楽	①平成5年1月 ④平凡社 ③阪口弘之＝編
	御所桜堀川夜討	鑑賞	上村以和於		カブキ101物語		①平成5年7月 ④新書館 ③渡辺保＝編
	第三部 名作の鑑賞 時代物 御所桜堀川夜討	解説	藤田洋・森西真 弓		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改定版、平成23年2月第3版

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	究極の座談会 三業一鉢の妙	座談会	水落潔＝司会	(7) 竹本住大 夫・(5) 鶴沢 燕三・(1) 吉 田玉男	文楽入門 鑑賞へのいざない		①平成7年6月 ④淡交社 ③淡交ムック。水落潔＝指導、青木信二＝写真。(1) 吉田玉男の弁慶の代役
	～鑑賞の手引～ 知名度抜群の登場人物 〔弁慶上使〕	鑑賞	高木浩志		文楽地方公演プログラム		①平成7年9月 ④文楽協会 ③平成8年3月文楽地方公演プログラムにも再掲
	「文楽千夜一夜」 《御所桜堀川夜討・弁慶上使 の段》 * 吉田玉男	芸談	松平盟子	(1) 吉田玉男			③弁慶
488	御所桜堀川夜討	解説	黒石陽子		叢書江戸文庫	38竹本座浄瑠 璃集〔二〕	①平成7年12月 ④国書刊行会
579	『御所桜堀川夜討』考一文耕 堂の素材解釈の独自性一 第三章 文耕堂の作劇法一奇 抜な発想と歴史へのまなざ し一 第四節 『御所桜堀川夜討』 考一文耕堂の素材解釈の独自 性一	研究	黒石陽子		東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学 近松以後の人形浄瑠璃	第47集	①平成8年2月 ④東京学芸大学紀要出版委員会 ①平成19年2月 ④岩田書院 ③近世史研究叢書18
	「文楽千夜一夜」 * 吉田叢助	芸談	松平盟子	(3) 吉田叢助	文楽地方公演プログラム		①平成8年3月 ④文楽協会 ③おわさ
	* 吉田玉幸			(2) 吉田玉幸			③弁慶
	第二部 現代の文楽 Ⅲ 文楽の演出 (一) 1 創意工夫	演出	(1) 吉田玉 男・高木浩志		岩波講座 歌舞伎・文楽	第10巻 今日の文楽	①平成9年12月 ④岩波書店 ③弁慶の人形に使用する胴巻について
	手慣れた曲ぞろいで安定感	劇評	田結莊哲治		演劇界	第56巻 第2号	①平成10年2月 ④演劇出版社 ③平成10年1月国立文楽劇場所演
	品格、大きさ、みごとな玉男 の良弁	劇評	宮辻政夫		上方芸能	130号	①平成10年10月 ④『上方芸能』編集部 ③平成10年1月国立文楽劇場所演
	錦糸襲名と見取り狂言の未来	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	22	①平成10年12月 ④歌舞伎学会 ③平成10年1月国立文楽劇場所演 (一言)
	身代わり狂言の魅力	参考	水落潔		NHK 日本の伝統芸能		①平成10年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門V

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	玉男芸話1	芸談	森西真弓＝聞き手	(1) 吉田玉男	国立劇場上演資料集	411	①平成11年9月 ④日本芸術文化振興会 ③(1) 吉田玉男の弁慶の代役
	ひらかな盛衰記				吉田玉男文楽藝話		①平成19年9月 ④日本芸術文化振興会 ③国立劇場上演資料集増刊
	文楽名作ダイジェスト 時代物 『御所桜堀川夜討』	あらすじ	広瀬依子		NHK 日本の伝統芸能		①平成14年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門9
	豆辞典 文楽なんでも誌「義経の足跡」	語釈 史跡	田結莊哲治		国立文楽劇場文楽公演解説書	第88回	①平成14年11月 ④日本芸術文化振興会
	関西劇信 文楽と多彩な舞台	劇評	坂東亜矢子		演劇界	第61巻 第1号	①平成14年12月(平成15年1月号) ④演劇出版社 ③平成14年11月国立文楽劇場所演
	力強さと静かさと	劇評	片山剛		上方芸能	147号	①平成15年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成14年11月国立文楽劇場所演
	二〇〇二年下半期の文楽	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	31	①平成15年8月 ④歌舞伎学会 ③平成14年11月国立文楽劇場所演(短評)
	第二章 太夫・三味線・人形遣い * 吉田玉男	芸談	亀岡典子	(1) 吉田玉男	文楽ざんまい		①平成17年6月 ④淡交社 ③(1) 吉田玉男の弁慶の代役
	時代物・男の巻 御所桜堀川夜討	解説	高木秀樹＝著／ 青木信二＝写真		あらすじで読む 名作文楽 50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本。平成27年9月加筆再構成した新版刊
	名作文楽50 御所桜堀川夜討				文楽手帖		①平成26年8月 ④KADOKAWA ③角川ソフィア文庫。『あらすじで読む 名作文楽50』を加筆修正のうえ再構成したもの
	人形浄瑠璃における「加工行為」—浄瑠璃作者文耕堂の創作活動が生み出したもの—	研究	黒石陽子		日本文学	第55巻 第1号	①平成18年1月 ④日本文学協会 ③特集〈加工行為としての〈文学〉〉
	第三章 文耕堂の作劇法—奇抜な発想と歴史へのまなざし— 第五節 浄瑠璃作者文耕堂の特色—『三浦大助紅梅＝【革へんに勺】』を中心に—				近松以後の人形浄瑠璃		①平成19年2月 ④岩田書院 ③近世史研究叢書18

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	住大夫・錦糸と人形中堅の 「河庄」	劇評	水落潔		演劇界	第64巻 第6号	①平成18年3月（4月号） ④演劇出版社 ③平成18年2月東京国立劇場小劇場所演
	第四章 忠義の死 * 御所桜堀川夜討 弁慶上使 の段	鑑賞	葛西聖司		文楽のツボ		①平成18年5月 ④日本放送出版協会 ③生活人新書182
	文楽・知識の泉⑭	演出	高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説 書	第105回	①平成19年1月 ④日本芸術文化振興会
	萌芽に期待の春	劇評	亀岡典子		演劇界	第65巻 第3号	①平成19年2月（3月号） ④演劇出版社 ③平成19年1月国立文楽劇場所演
	しゃべる女と無償の愛	劇評	片山剛		上方芸能	164号	①平成19年6月 ④『上方芸能』編集部 ③平成19年1月国立文楽劇場所演
	文耕堂	解説	齊藤祐一		帝京日本文化論集	第15号	①平成20年9月 ④帝京大学日本文化学会
	文楽歴史散歩 文楽つれづれ話 * 武蔵坊弁慶 * 「御所桜堀川夜討」弁慶上 使の段	史跡 鑑賞	田結莊哲治 櫻井弘		文楽地方公演プログラム		①平成20年9月 ④文楽協会 ③平成21年3月地方公演プログラムにも再掲
	おわさ 御所桜堀川夜討 弁慶上使	解説 芸談	青木信二・小川 知子・出上実＝ 写真／高木浩志 ＝文	桐竹紋壽	文楽人形之美 桐竹紋壽写 真集		①平成22年6月 ④草場書房
	大阪東京本公演以外で人間国 宝勢揃いは今年も博多座だけ の特別企画 しかも名作・人 気作 文楽の魅力満載	鑑賞	高木浩志		博多座文楽公演プログラム		①平成23年12月 ④博多座
	出演者インタビュー * 吉田玉女	芸談	山口由美子＝聞 き手	吉田玉女 （(2) 吉田玉 男）			
	三部制を見直す時	劇評	富岡泰		演劇界	第72巻 第4号	①平成26年4月 ④演劇出版社 ③平成26年2月東京国立劇場小劇場所演（短評）